

野毛山動物園にマヌルネコが来園します！

横浜市では、野毛山動物園のリニューアルを進めており、今回、このリニューアルに合わせて、令和7年11月10日(月)に東京都恩賜上野動物園からマヌルネコの「フィーガ」(オス・1歳)が横浜に来園します。フィーガを展示予定の新施設が完成するまでは、園内の仮獣舎で暮らす予定です。

入園後はしばらく展示場(仮獣舎)への馴致(環境に慣らすこと)を行うため非公開とさせていただきます。公開日については、馴致状況を見て野毛山動物園のホームページ等にてご案内します。

また、今後、野毛山動物園のリニューアルに伴って、現在飼育中のクロツラヘラサギやホオアカトキなどは、国内の動物園に順次引っ越す予定となっています。対象動物や引っ越し予定等についても、順次野毛山動物園のホームページ等にてお知らせします。



▲愛称：フィーガ

写真提供：東京都恩賜上野動物園



指定管理者：(公財) 横浜市緑の協会



お問合せ先

【野毛山動物園のリニューアルに関する事】

横浜市みどり環境局戦略企画課まちづくり連携担当課長 河辺 良晋 Tel045-671-4777

【動物園の運営に関する事】横浜市みどり環境局動物園課長 白井 智廣 Tel045-671-2607

【施設や動物に関する事】(公財) 横浜市緑の協会野毛山動物園 園長 田村 理恵 Tel045-231-1307



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【参考資料】

■今回来園する個体

フィーガ（オス）	令和6年（2024年）4月13日 東京都上野動物園 生まれ
----------	-------------------------------

■マヌルネコについて

和 名	マヌルネコ
英 名	Pallas's cat
学 名	<i>Otocolobus manul</i>
分 類	食肉目 ネコ科
生 態	アフガニスタン、カザフスタン、キルギス、中華人民共和国、ネパールの中央アジアからモンゴル国、ロシア南部など幅広く分布する原始的な形態を残すネコの仲間。 標高450 - 5,073メートルにある、岩場の多い草原やステップ・半砂漠などに生息し、昼夜を問わず活動するが、狩りは主に薄明薄暮時に行う。非常に警戒心の強い性格で緊張すると動かずに身をかがめて、じっとしていることが多い。
ワシントン条約 （CITES）	ワシントン条約附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
国際自然保護連合 （IUCN） レッドリスト	低危険種
現在飼育頭数	0 頭
国内飼育園館	7 園館 24 頭（オス 12 頭、メス 12 頭）※令和6年12月末日現在

■野毛山動物園について

入 園 料：無料

開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）

休 園 日：毎週月曜日（祝・休日の場合は翌日）、12/29～1/1

交 通：JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅下車徒歩15分、
または市営バス89系統「一本松小学校」行き「野毛山動物園前」下車すぐ
京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩10分

U R L：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/nogeyama/>

住 所：横浜市西区老松町63-10

問合せ先：045-231-1307